

頑張っている消防団(員)への 新たな支援について



質問者
田代 実 議員

松田町消防団は戦前の
警防団を引き継ぎ、長き
に渡り町の防災に貢献さ
れています。その団員は
究極のボランティアで、
日頃の活動に大変感謝し
ております。

しかしながら、昔の消
防団員は自営業者を中心
に編成されていましたが、
近年は団員不足に加え町
外で働くサラリーマンの
方が増え、平日の出動が
難しい状況になっていま
す。

そこで、次のことにつ
いてお伺いします。

- (1) 消防団員の定数に対
する充足率と、昼間(平
日・休日)の出動可能な
団員人数について
- (2) 消防団と自主防災
会・防災リーダー(ボラ

ンティア)との連携につ
いて

- (3) 平日昼間の災害発生
時に限って、消防団(署)
OBが出動できる新たな
体制を構築し、地域防災
力の強化を図る考えにつ
いて

A 消防団OBの力を 借り新たな支援に 取り組む!

回答 (町長)



- (1) 定員140人(17人
×8個分団136人・本
団4人)に対し、13人欠
員のため充足率は90%。
昼間の出動可能人数は、



機械器具点検報告(消防出初式)

松田地区が平日27人・土
曜日45人・日曜日54人
寄地区が平日18人・土曜
日35人・日曜日47人の
ため、平日の防災力の低
下について危惧している。
(2) 災害が大きくなるほ
ど、消防団と自主防災会

福祉政策の充実を問う



質問者
南雲 まさ子 議員

(1) 町民が急に体調が悪
くなり、救急車などで医
療機関に搬送される場合
等に、その方の健康に関
する情報を伝えるための
手段として、平成26年に
「あしがら安心キット」

が配布されました。その
後の安心キットの配布状
況や、町民への周知の方
法について、どのように
されているのかお伺いし
ます。
(2) 平成27年の介護保険

の連携が必要となるので、
双方の意見を伺い、実施
できることは積極的に取
り入れていく。
(3) 消防力の強化につい
て、2年間調査検討を行
ってきた。平成29年7月
に、南足柄市が県内で初
めて消防団(署)OBに
限定して採用する「機能
別消防団」を設置した。
消防団員として採用し、
活動は平日の昼間に限定
している。当町でも
前向きに取り組んでいく。

A 町民が安心して 暮らせる町を

回答 (町長)



(1) 「あしがら安心キット」
は、166世帯が申請し
ている。その方々以外の
配布対象者を中心に、民
生委員、自主防災会、社
会福祉協議会等の協力を
得ると共に、町広報紙等

法の改正により、介護予
防と日常生活支援総合事
業が実施されることにな
りました。そのため市町
村は、主体的に総合事業
に取り組み、生活支援・
介護予防の充実に努める
ことになりました。そこ
で、本町の総合事業の取
り組みについて、特に介
護ボランティアポイント
制度と家事援助サービス
事業についての考えをお
伺いします。



あしがら安心キット

でも周知に努めていく。
(2) 介護支援ボランティア
ポイント制度が発足し
てから二年が経過し、利
用者からの意見・感想を
もとに、より良い制度と
するよう再度検討し、固
まった段階で広く周知し
活用していく。
家事援助サービスは、
日常生活上の支援を行う
もので、事業者が行う訪
問介護から、ボランティア
によるゴミ出しまで、
多様なサービスが含まれ
る。今後、多様なサービ
ス提供の構築のため、生
活支援の体制整備につい
て、町と社会福祉協
会・民間業者等と協力を
進める。